

宗吾様350年祭記念行事 義民ゆかりの 市町長らを迎え フォーラムを開催

義民の象徴として知られている木内惣五郎没後350年にちなみ、「義の心を今に」と題し「人づくり・まちづくりフォーラム」が7月20日、宗吾霊堂で開催されました。会場には全国各地から約300人が訪れ、シンポジウムや講演に熱心に耳を傾けていました。

また、会場内には小泉首相など各界の著名人約160人から寄せられた「義」の色紙や、成田の義民・宗吾ゆかりの人物のパネルなどが展示され、会場に訪れた人たちは興味深く見入っていました。



宗吾霊堂大本坊で開催された義民フォーラム



各界の著名人自筆の「義」の色紙を見る参加者

サッカーペルーU-17代表 日本の武芸 剣道・柔道を体験

サッカーペルーU-17代表の選手団が、「国際ユースサッカーin新潟」大会出場前の調整のため、7月13日から17日まで成田でミニキャンプを行いました。

親善試合でコンディションを整える一方、15日には在日ペルー人が多く在学する遠山中学校を訪問し、体育の授業に参加。初めて手にする竹刀の扱いや、帯の締め方が分からず戸惑う場面もしばしば。選手たちは大粒の汗を流しながらも一生懸命いこに取り組んでいました。



気合を入れてメーン！

第38回千葉県消防操法大会 成田山新勝寺チームが準優勝！

準優勝旗と賞状を手にする新勝寺チーム

放水も見事



猛暑となった7月31日、千葉県消防学校（千葉市）で行われた第38回千葉県消防操法大会で、印旛郡代表として出場した新勝寺チームが、ポンプ車の部で見事準優勝に輝きました。これは、昨年同大会で4位に入賞した並木町チームの記録を塗り替え、本市消防団の最高成績となりました。



成田国際高校の生徒が辞書を片手に房総のむらを案内



日中の子どもたちがお互いの似顔絵を交換



「希望の星」と「少年の翼」のみなさん（平成小学校で）

成田市航空機災害訓練 災害発生！ ドクターヘリ 出動願います



救急医療機器を装備し、医療スタッフが搭乗するドクターヘリ

「航空機が墜落炎上し負傷者が出た」との想定で7月25日、豊住中学校で航空機災害訓練が実施されました。市職員・消防団・医師団など約300人が参加して行われた訓練には、今回初めてドクターヘリが参加。災害対策本部の出動要請に応じて、災害現場に到着すると重症患者を乗せ、搬送先の救命救急センターへと飛び立っていきました。



完成した「義民 治右衛門様の碑」

石碑に献花する吉倉区民



重税に苦しむ村民のために立ち上がり、経堂塚で処刑された吉倉村（現在の成田市吉倉）の名主治右衛門。この出来事を後世に伝えようと吉倉区で建立が進められていた「義民 治右衛門様の碑」が完成し、これを祝う式典が7月28日、地区内の多間院境内で行われました。この日は区民90人が集まり、村民のために処刑された治右衛門の遺徳をしのびました。

「義民 治右衛門様の碑」開眼の儀
**340年前の遺徳をたたえ
区民が石碑を建立**